



◆総合的な学習の時間における系統的体験学習プログラム◆

令和3・4年度県教委の研究指定を受け、「ふるさとの新たな魅力を創出するキャリア教育（ふるさとキャリア教育）」の事業を行いました。今年度もその学習を発展させ、生徒自身が地域の当事者として、ふるさとへの愛着や誇りをもつとともに、ふるさとの課題を知り、その解決を図ったり、新たな魅力を創出・発信したりして、ふるさとについての学習を深めました。10月から学年ごとに保護者、お世話になった方々をお招きして、学習した成果の発表会を行いました。

| 1年生（11月1日） | 2年生（11月8日） | 3年生（10月29日） |
|--|--|--|
| ふるさとの魅力や課題を知る | ふるさとの課題を解決するために貢献する | ふるさとの魅力を発信する活動を行う |
| ふるさと長与の現実的な課題など、これまで知らなかったことや新たな発見を発表しました。 | 文化、福祉、産業、環境の4コースに分かれ、それぞれの課題解決に向け学習したことを発表しました。 | 長与の魅力の情報を収集し、伝わりやすいよう工夫して発信したり、活動したりしたことを展示・発表しました。 |
|  |  |  |

◆パープルリボン◆

玄関前にパープルリボンツリーを展示しています。パープルリボンとは、「世界を子どもや暴力の被害者にとってより安全なものにすること」を目的に、アメリカのニューハンプシャー州から始まったといわれています。「暴力をなくそう」「あなたひとりではないよ」との思いを込めて、暴力のない社会、学校を目指して2年生徒で作りました。16日まで学校で展示後、11月20日13時～24日13時まで長与駅コミュニティホールでも展示いたします。



◆地域と共に・・・◆

先日、社会福祉協議会の方から「目の不自由な方が、交差点で白杖を上にかざしているところ（助けを求めるゼスチャー）、中学生が声を掛けてくれて、安全な場所まで一緒に歩いてくれた。非常に助かったそうです。」との連絡がありました。社会福祉協議会へ電話された方に確認の電話をしたところ、その方は、「白杖をかかっていたら、困っていることが分かったということで嬉しかった。学習したこと（総合的な学習の時間の発表会で、その日にちょうど習った）ことを、すぐに実践したことが嬉しい。」「何よりも中学生と一緒に危険なところを一緒に歩いてくれたことが嬉しかった。」と、弾んだ声で話をされていました。今回一緒に歩いたのは1年生の生徒でしたが、お礼の電話があったことを私から本人たちに伝えている時の顔は、とてもいきいきしていました。総合的な学習でお世話になっている社会福祉協議会の方も、生徒たちが学んだことをすぐに実践したことを、大変喜ばれていました。関わったみなさん、そしてそれを知った人をも温かな気持ちにさせる、そんな出来事（行動）でした。

※ 写真等を掲載しておりますので、取扱いには格別の御配慮をお願いいたします。